

チーフ会議資料

-EYA室測量基準設置-

2014.09.16

都丸, 木村, 鈴木, 久米

クライオスタット1号機のY-end据付は無事終了したが・・・



鹿島の設置した座標基準ピンが
クライオスタットの真下(中心軸)に
なってしまったことが分かった。

座標基準からローカルな測量基準を
作っておかないと、クライオスタット、
防振系、ペイロードなどのアラインメント
ができない。

MESCOによる据付では、床面ピットが
設計値より4mm低く、傾き調整のため
に挿入したシムが4mmなので、おおよそ
高さは設計値通りになっている、とのこと。
しかし、この設置誤差を計測する手段
がない。



もっとも近くの測量基準ピンは、
～30m離れたiKAGRAチェンバー部のもの

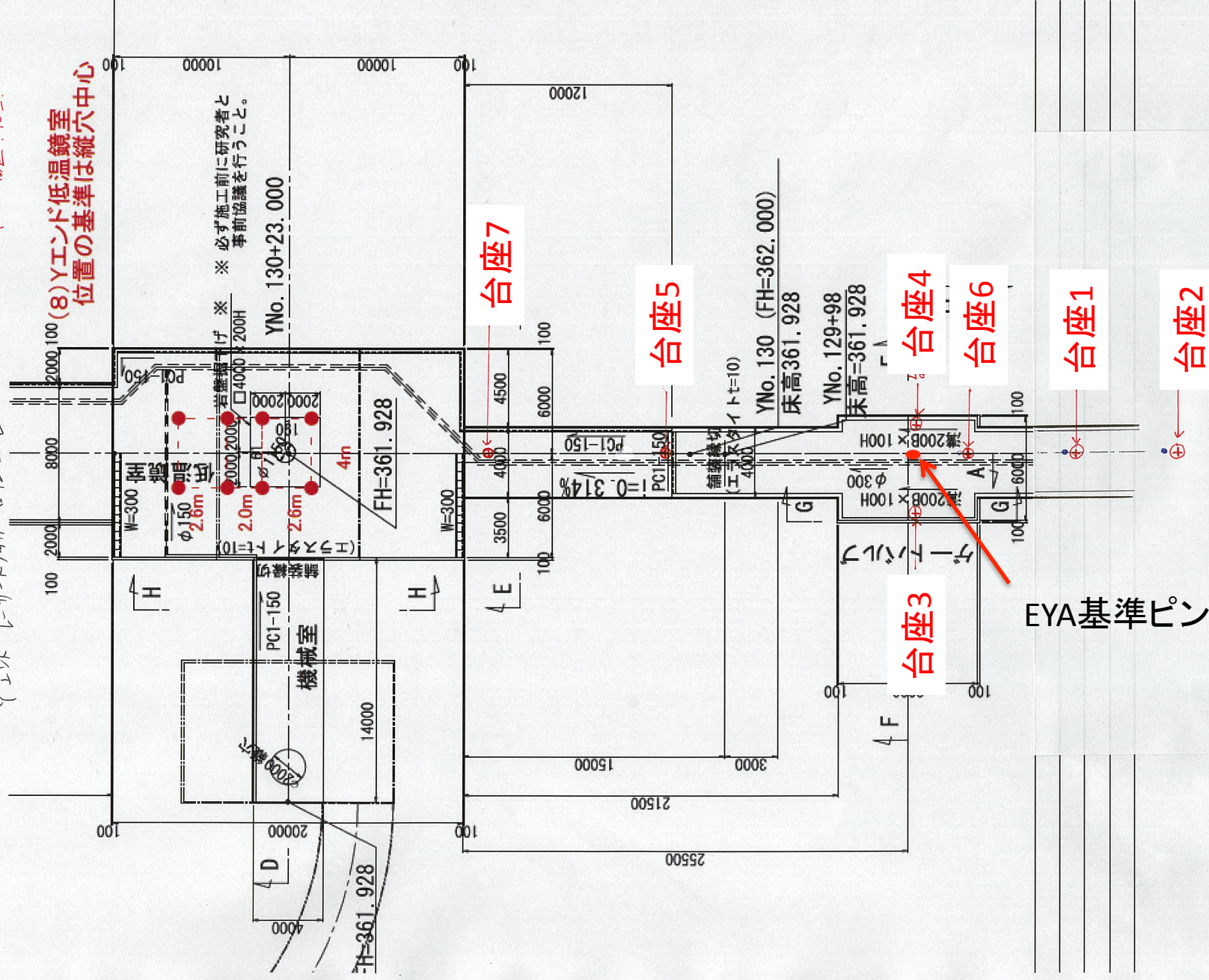
- 9/1-3にEYA室の座標基準ピンを、周囲の床面、壁面に移す作業を行った。
実施した測量は、
EYA室のiKAGRAチェンバー設置位置のMESCO基準ピン上から、中央実験室方面の
2つのMESCO基準ピンでラインを出し、このラインを基準にダクトシールド室
に測量基準台座を設置。
- 測量機器は、トータルステーションTS-30と測量用ターゲットシール、CCRを使用。
作業員は、都丸・久米・鈴木の3名。
- 次ページの位置にCCRを載せる基準台座を設置。防塵塗装上にエポキシ貼り。



可能な範囲で踏まないで欲しい。

(2013.09.01の四)

(2013.09.01の四) YEND構造が元因。



Cryogenics グループでは、クライオスタット回りおよびCryogenic Payload回りはレーザートラッカーによる精密測量で機器を設置・確認しておくことを計画している。

今後の予定

- 2014.09下旬 Y-end クライオスタット室の測量およびアラインメント
X-end クライオスタット室測量
- 2014.10月上旬 X-end クライオスタット2号機搬入据付
- 2014.12 Y-end クライオスタット組立
- 2015.01-02 X-end クライオスタット組立